



Japan Writing Instruments
Manufacturers Association

日本筆記具工業会ニュース

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-30-6
TEL 03-3891-6161 FAX 03-3802-9692

発行：日本筆記具工業会 広報委員会 平成17年7月1日 15号

西村会長から小川会長へ

日本筆記具工業会は5月12日、上野精養軒で「第4回通常総会」を開催し、西村貞一会長の任期満了に伴い、小川洋平筆頭副会長を第3代会長に選出しました。総会におけるそれぞれのご挨拶を紹介します。

西村貞一前会長

本工業会会長に就任いたしまして2年が経ちました。これまで無事に務め上げさせていただきましたのはひとえに会員の皆様とスタッフのご協力があったこととでございます。あらためて御礼申し上げます。

さて、会長在任中に印象に残ったことを思いつづままに申し上げますと、まずは、会員の懇親を深めようと「JWIMAゴルフコンペ」を新たに創設したこととでございます。また、16年度上期の理事会を大阪で開催しましたことも思い出深いことでした。

事業面で申しますと、第一に国際規格適正化事業をスタートさせたこととでございます。これは水性ゲルインキボールペンのJIS規格を国際規格ISOとして提案する意義ある事業で、着々と進捗をみております。また、我が国のJIS規格も大きく発展を遂げ、本年10月から新たな枠組みでスタートを切るようになりました。

第二には、日中関係に新しい展望を開いたこととであります。我が国の文具市場も中国との関係が深まり、とくに知的財産権の問題がクローズアップされてきました。実際の成果は17年度にまたがりましたが、この4月に当工業会と全文協で中国に民間視察団を派遣することができ、対中の知財問題で一步も二歩も前進できたと思っています。

第三のテーマはデフレ脱却でございましたが、この大波は私の在任中には残念ながら改善できませんでした。国は17年度内にデフレ圧力は解消しないと断言しておりますが、原料価格が高騰を始めている現状から、いずれはこれを製品価格に転嫁していかざるを得ません。このような循環がデフレ脱却を軌道に乗せると考えていますので、今後の展開に期待しております。

最後になりますが、各委員会の皆様とここにお集まりの会員の皆様から心から御礼申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

小川洋平新会長

本日開催されました第4回総会にて第三代会長にご推挙いただきました。工業会の発展のために努力申し上げる所存ですので、どうか会員各位のご支援をよろしくお願い申し上げます。

さて、事務局から示された統計資料で明らかのように、我が国文具業界はますます厳しさを増しています。2000年 - 2004年の4年間で主要4品目（鉛筆、マーキングペン、ボールペン、シャープペンシル）の出荷額は約350億円減少してしまいました。その原因は、少子化、IT化による手書き離れ、中国製品の流入等があげられますが、中でも、中国製文具は我が国の市場をめぐって大量に超低単価で輸出されている現状があります。しかもこれらの傾向は衰えるどころかますます勢を強めている状況です。

会長として今後の2年間をどのように乗り切ろうかと頭を悩ませている状況ですが、まずは、会員企業の個々の経営努力と創意工夫をもって、とくに自社の強い分野で勝負していただきたいと思います。そうした事業活動の中で、各々の企業のみでは手が届かないこと、たとえば外国企業や団体との交渉事や情報を収集したいということがありますが、そのようなことについては工業会で力を合わせていきたいと思っています。

初代会長の数原英一郎社長、二代目会長の西村貞一社長が工業会の基礎を作ってくださいましたので、これをきちんと継承しつつ2年間実りある運営をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。簡単ですが、就任のご挨拶とさせていただきます。

第4回通常総会



<委員会・部会報告>

平成17年4月から6月末日までの本工業会委員会及び部会等の活動を報告します。

総務委員会(委員長:今井正芳副会長)

4/13及び6/15

優良工場見学会開催について

開催日 10月13日(木)

見学先は資生堂鎌倉工場で交渉中。

会員研修会開催について

開催日 10月4日(火)に決定。

会場 東京文具工業健保会館会議室

テーマは、・EN71シリーズ(玩具の安全性、欧州規格)、・お客様相談窓口の現状について。

研修終了後、懇親会を開催することを決定。

詳細決定次第ご案内します。

第2回ゴルフコンペ開催について

開催日 9月10日(土)

グレンオークスC.C.(千葉県香取郡)

9時30分(IN・OUT)

年末の講演会について

開催日 12月7日(水)

講師とテーマについては調整中。

決定次第ご案内します。 その他。

流通委員会(委員長:堀江圭馬副会長)

<お客様相談窓口連絡会> 神田勇部会長6/23

お客様対応について情報交換を行った。

「消費生活用製品の誤使用事故防止ハンドブック」(独立行政法人製品評価技術基盤機構発行)について意見交換を行った。 その他。

技術・国際委員会(委員長:数原英一郎副会長)

<17年度 国際規格適正化事業委員会>

ゲルインキボールペンJIS規格をISO規格(国際標準化機構)として提案するための「国際規格適正化事業委員会」がスタートした。

本年度は平成17年9月28日と18年1月に、小川会長を中心に欧州筆記具工業会(EWIMA)技術委員会に出席しISO化を推進する。

委員会の目的

ゲルインキボールペンは、国内で大量に流通しており、平成17年1月20日に日本工業規格(JIS S 6061 ゲルインキボールペン及びレフィル)が制定公示された。対応する国際規格が存在していないので、技術面で世界をリードし、且つ今後の新製品開発も日本主体となることから、日本工業規格原案作成中から、欧州筆記具工業会の技術分科委員会において、この規格を基にISO規格として国際提案する活動を進める。

委員会名簿

委員長:西本洋二、委員:村田政光(部外)、佐藤清嗣(部外)、塩井恵子、長島功典、加賀見彰司、金子基也、中嶋康治、高畠博幸、寺西 威、金倉徹夫、井守俊哉、櫻村朝昭、光谷良英、嶋田幸久、和田俊二郎、大木泰宏、小倉紀郎(順不同)

<鉛筆部会・シャープ部会合同部会> 6/21

「JIS S 6006鉛筆、色鉛筆及びそれらに用いるしん」及び「JIS S 6005シャープペンシル用しん」の改正について審議した。改正原案作成の期間は、平成17年8月1日~18年7月31日。

<全文協・日本筆記具工業会合同知的財産部会>

5/27

ISO T 2005における模倣品対策活動について。(別記参照)

2005文具貿易発展交流会視察団の報告と今後の対応について(別記参照)

訪中の成果を受けて、今後の発展的な取り組みについて意見交換した。

国際知的財産保護フォーラム(JETRO)の今後の業界としての取り組みについて。継続的に協議していくこととした。

本年度知的財産プロジェクト活動について。

「各国の水際(税関)対応(第3ワーキンググループ)」について大森プロジェクト長から報告があった。「日本を除く模倣品の製造国、流通国への対応(第4ワーキンググループ)」について笹川委員長代行から報告があった。

3業種団体交流会(時計・玩具・文具)について。テーマ案等について協議した。

日本筆記具工業会 第三期正副会長

会 長	小川洋平	(株)トンボ鉛筆代表取締役会長
副会長	石川真一	ゼブラ(株)代表取締役社長
副会長	今井正芳	(株)パイロットコーポレーション常務取締役
副会長	数原英一郎	三菱鉛筆(株)代表取締役社長
副会長	西村貞一	(株)サクラクレパス代表取締役社長
副会長	堀江圭馬	ぺんてる(株)代表取締役社長
その他	常任理事3名、理事7名、監事3名	

ISOTで模倣品対策を実施します 合同地財部会

本工業会と全文協の合同知的財産部会は、7月7日から開催されるISOT2005で模倣品対策活動を実施。とくに東アジア地域の文具製造業者に対して知的財産権を重んずる企業姿勢を求める行動を展開します。

模倣品対策セミナー／パネルディスカッション

開催日時： 7月8日(金)午後14:00～16:30
会場： 東京ビッグサイト東3展示ホール
参加者： 80名(先着順締め切り)
テーマ： 「止まらない模倣品、その原因・対策」
コーディネーター：日高 賢治氏(日高東亜国際特許事務所長・弁理士)

パネラー： 吉田雅彦氏(経済産業省 製造産業局参事官 模倣品対策 通商室長)、後谷陽一氏(JETRO北京センター知的財産権室長)他。

参加お申し込みは本工業会事務局まで。

模倣侵害品実態調査

例年通り、ISOT初日の7日、午前11時から14時30分まで、合同知的財産部会のメンバーと弁理士が海外ブースを中心にパトロールを実施。

真正品・模倣品比較展示コーナー 常設

特許庁等から提供された啓蒙パネルなどを展示する。真正品と模倣品の現物を展示し、模倣侵害品による被害の実態を紹介する。東3展示ホールVIPルームそば。

模倣防止相談コーナーの設置

相談員に水野 清弁理士、範 立岩弁理士(中国)を迎え、メーカー、流通業者等からの模倣品対策に関する個別相談に応じる。東1ホール全文協事務局室内に設置。

模倣品対策 早期審査制度について 特許庁より

製品デザインの模倣品が発生したとき、直ちに意匠審査に着手し、申請から1ヶ月以内に一次審査結果を通知する「早期審査制度」が4月1日から開始されています。この詳しい内容は特許庁ホームページの「模倣品対策に対応した意匠出願の早期審査制度の新たな運用について」で知ることができます。アドレスは次のとおりです。

http://www.jpo.go.jp/torikumi/mohouhin/mohouhin2/new_de_ap_2005.htm

電話でのお問い合わせは次のとおりです。

特許庁審査業務部 意匠課調査班 山田様、久保田様 電話：03-3581-1101(内線2907)

本工業会と社団法人全日本文具協会の合同知的財産部会は全文協の田端専務理事を団長代行に、4月26日～5月1日の6日間、知的財産調査団(公称：文具貿易発展交流会)を中国に派遣しました。主な目的は、中国における筆記具業界と模倣品に関する意見交換、中国行政機関における模倣品の取締り状況の把握、見本市等市場見学でした。この訪中で中国筆記具製造業界と対話の糸口をつかむことができたことは大きな成果でした。こうした中、現地にて中国制筆協会と「互いの会員に対し、知的財産の重要性について教育活動を行う」等を盛り込んだ共同声明を交わしました。

お知らせ

ボールペン・マーキングペンの製造業に中小企業信用保険法第2条第3項第5号に係る「特定業種」の指定が平成17年9月末日まで適用されます。「特定業種」に指定されますと、金融機関から借入をする際に信用保証協会の「特例保証」を受けられます。特例保証を含む保険限度額は、普通保険4億円、無担保保険1億6千万円、特別小口保険2,500万円です。(詳しくは事務局まで)

会員相互の親睦を深める催事が決定しました。積極的なご参加をお待ちしています。

優良工場見学会

開催日 10月13日(木)
見学先 資生堂鎌倉工場(交渉中)

会員研修会

開催日 10月4日(火)
会場 東京文具工業健保会館会議室
テーマ ・EN71シリーズ(玩具の安全性、欧州規格)
・お客様相談窓口の現状
研修終了後、懇親会開催

第2回ゴルフコンペ

開催日 9月10日(土) 9時30分(IN・OUT)
グレンオークスC.C.(千葉県香取郡)

年末講演会

開催日 12月7日(水)
講師とテーマ調整中

開催前にご案内状を送付いたします。

中国調査団報告

2005年1～3月の出荷・輸入・輸出

繊維・生活用品統計(国内向け販売と輸出向け販売を含む)

(金額はすべて百万円)

出 荷	単位	2005年1-3月度		2004年1-3月度		前年変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	109,060	7,012	117,543	8,002	-7.2%	-12.4%
ボールペン(水性)	千本	169,420	7,434	192,980	8,335	-12.2%	-10.8%
マーキングペン	千本	188,606	9,072	188,666	9,959	0.0%	-8.9%
シャープペンシル	千本	59,943	4,446	62,623	4,742	-4.3%	-6.2%
鉛筆	gross	837,597	2,643	864,733	2,705	-3.1%	-2.3%
シャープしん	千本	761,063	1,500	997,317	1,750	-23.7%	-14.3%
修正液	千本	11,195	1,036	12,103	1,107	-7.5%	-6.4%
修正テープ	千個	23,639	2,019	23,625	2,094	0.1%	-3.6%
クレヨン・パス	千本	43,642	696	46,810	697	-6.8%	-0.1%
水彩絵の具	千本	18,101	749	17,882	743	1.2%	0.8%
合計金額			36,606		40,133		-8.8

日本貿易統計

輸 出	単位	2005年1-3月度		2004年1-3月度		前年変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	51,144	1,786	52,124	1,913	-1.9%	-6.6%
ボールペン(水性)	千本	120,757	5,307	151,295	6,315	-20.2%	-16.0%
マーキングペン	千本	68,152	2,774	71,050	3,071	-4.1%	-9.7%
シャープペンシル	千本	38,749	1,564	39,349	1,713	-1.5%	-8.7%
万年筆	千本	1,182	172	1,177	170	0.4%	1.0%
以上のセット品	千本	108	21	42	8	159.9%	167.5%
黒しん鉛筆	gross	21,379	37	35,082	73	-39.1%	-49.3%
色しん鉛筆	gross	4,255	14	8,302	23	-48.7%	-39.4%
ボールペン用中芯	千本	44,529	656	55,899	720	-20.3%	-8.9%
マーキングペン用ペン先・ノックポイント	千本	998,106	1,846	926,356	1,643	7.7%	12.4%
シャープ部品・付属品	Kg	48,570	227	44,649	223	8.8%	1.7%
万年筆・ボールペンの部分品	Kg	312,656	902	426,204	1,104	-26.6%	-18.3%
シャープしん(鉛筆しん含む)	Kg	110,343	563	118,928	589	-7.2%	-4.3%
クレヨン・パス	Kg	36,334	64	45,273	100	-19.7%	-36.2%
合計金額			15,933		17,665		-9.8%

日本貿易統計

輸 入	単位	2005年1-3月度		2004年1-3月度		前年変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン	千本	65,132	1,915	60,543	1,677	7.6%	14.2%
マーキングペン	千本	52,812	739	49,433	809	6.8%	-8.6%
シャープペンシル	千本	11,477	307	12,828	318	-10.5%	-3.5%
万年筆	千本	174	350	174	246	0.3%	42.0%
セット品	千本	695	39	435	31	59.9%	24.8%
黒しん鉛筆	Kg	160,380	132	156,336	111	2.6%	18.6%
色しん鉛筆	Kg	256,812	224	325,111	236	-21.0%	-5.2%
ボールペン用中しん	千本	8,201	70	11,556	91	-29.0%	-23.4%
ペン先及びポイント	千本	17,103	76	35,608	105	-52.0%	-27.9%
ボールペン又はシャープの部品・付属品	Kg	245,859	495	213,836	425	15.0%	16.5%
ペン軸、その他の部分品	Kg	43,160	67	42,023	66	2.7%	1.8%
しん	Kg	119,259	98	85,316	108	39.8%	-9.3%
パステル・チョーク	Kg	372,831	176	337,349	174	10.5%	1.1%
合計金額			4,688		4,398		6.6%